

ランチョンセミナー 4

「乳癌診療におけるHER2検査-血清HER2測定の有用性と病理診断-」

- 日 時 **10月9日(金) 12:10 ~ 12:50**
- 演 者 **梅村 しのぶ 先生**
東海大学医学部
基礎診療学系病理診断学 准教授
- 座 長 **宮地 勇人 先生**
東海大学医学部 教授
- 会 場 **パシフィコ横浜 会議センター
第IV会場 / 301号室**

近年臨床検査及び医療技術の進歩により、多くの癌において罹患率及び死亡率は減少傾向にあるが、乳癌では患者数及び死亡率が持続的に増加している。我が国でも女性の約20人に1人の割合で乳癌に罹患しており、欧米の状況(8人に1人が罹患)へと急速に接近している。なかでもHER2(Human Epidermal Growth Factor Receptor Type 2) 蛋白を過剰発現している症例では癌の進展が早く、転移しやすいと言われており予後が不良である。近年実用化されたHER2蛋白を標的とする分子治療薬であるトラスツズマブの普及により乳癌患者の予後は大幅に改善した。HER蛋白の過剰発現を検出する方法として、乳癌細胞のバイオプシー実施後に免疫組織化学的手法による病理検査法が広く行なわれており、高い有用性を有している。病理検査法には、蛋白の検出を測定するIHC(Immunohistochemistry)法が、また遺伝子増幅の検出法としてFISH(fluorescent in situ hybridization)法が用いられている。

最近、血清中のHER2蛋白細胞外ドメインを測定する方法が開発され、臨床検査が可能となった。病理組織検体の採取ができない場合や、経過観察などで複数回の検査が必要な場合に特にその有用性が発揮される。本ランチョンセミナーでは、第一線でご活躍の東海大学医学部の梅村しのぶ先生をお招きし、乳癌診療におけるHER2検査の意義、病理組織学的検査方法、血清HER2測定の意義と有用性についてご講演いただきます。

お弁当は整理券制です。10月9日(金)朝8:30-10:30、パシフィコ横浜会議センター3階学会総合受付付近会員連絡版横の整理券配布場所で配布される整理券をご持参下さい。
(先着順、なくなり次第終了となります)

日本臨床検査自動化学会 第41回大会

ランチョンセミナー4のご案内(後援:シーメンスヘルスケア・ダイアグノスティクス株式会社)

2009年10月9日(金) パシフィコ横浜 会議センター

Answers for life.

SIEMENS

学会展示のご案内

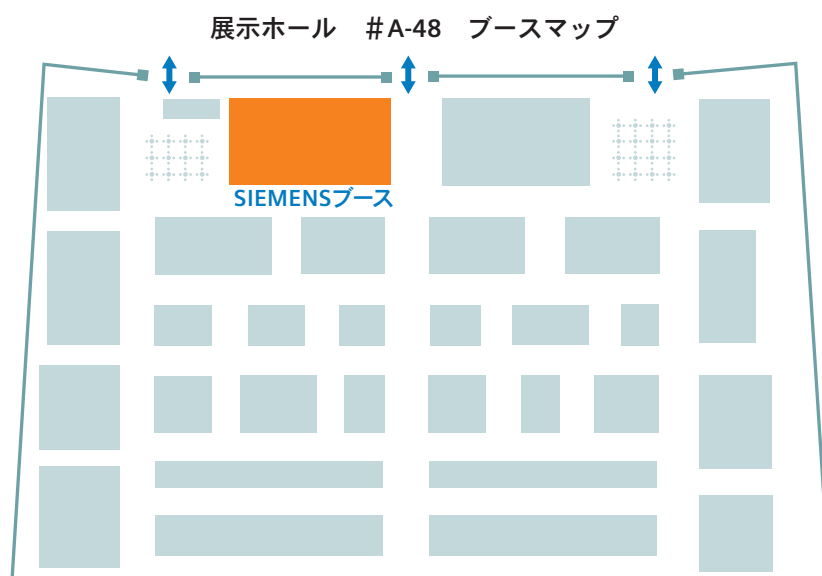
- 日 時 2009年10月8日(木) 13:00 ~ 17:00
9日(金) 9:30 ~ 17:30
10日(土) 9:30 ~ 16:00
- 会 場 パシフィコ横浜 展示ホール #A-48

ゆとりある検査室を実現するために。

シーメンスは、ワークフローの向上、結果報告時間の短縮、リスク管理といった検査室毎の課題解決をサポートします。

検査業務の効率化、検査室から臨床へより価値の高い検査情報の発信を実現化する革新的な製品とそれらをツールとするソリューションをご案内します。

シーメンスブースにてお待ちしております。



日本臨床検査自動化学会 第41回大会
学会展示のご案内

Answers for life.

SIEMENS